

地域コミュニティプラン

上中妻のいま

そしてこれから

こころ豊かに 恵みの大地

未来につなげ ふれあいの輪!



上中妻地区住民の会

地域コミュニティプランとは

私たちは、人と人がお互いを思いやり、心ふれあい助け合って、豊かな環境のもとに安心・安全に暮らし、「この地域に住んでよかった」と思えるまちづくりをめざしています。

地域をよくしていくためには行政と一体となり、地区会・町内会をはじめ多くの関係団体とが連携をしながら、地域のことをよく知る私たち自身が主体となって地域コミュニティ活動を取り組んでいくことがなにより大切です。

地域コミュニティ活動のあり方は、時代の変遷とともにそのニーズも多様化してきており、新たな活動展開が求められているところです。

水戸市より新コミュニティ推進計画（平成21年度～26年度）が示され、「地域が元氣、地域主役のまちづくり」を基本理念として「地域コミュニティプラン」を策定することとしています。

当地区においても、住民の会をはじめ各町内会や関係各種団体等がこれまで積み上げてきた行事や事業実績を踏まえ、今抱えている課題などについても新たな将来像を描き、このプランを指針として取組んでまいります。

平成26年5月



上中妻の人口：5,692人
2,156世帯
(平成26年4月1日現在)

1 安心・安全なまち

凶悪な事件や「おれおれ」「手渡し」詐欺など、また車社会の中での交通事故があとを絶ちません。特にお年寄りや子どもたちの安心・安全の見守りなど、関係団体のみなさんと共に、地域のみなさんで関心を持って取り組んでいかなければなりません。

また日頃の防犯・防災意識を高め、東日本大震災の経験をもとに機動性に富んだ防災対策や避難所開設の機敏性、災害時用備蓄品の整備に努めていきます。

いまやっていること

- 町内防犯パトロール（防犯連絡会）
- 交通安全立哨（交通安全パトロール隊）
- 年末年始の夜間警戒（消防団）
- 防災訓練・防災教室
- 救急救命講習会（婦人防火クラブ）
- 住宅用火災警報器設置の普及啓蒙
- 災害時備蓄品の整備
- 「地域防災規定」の見直し
- 防災マップの全戸配付
- 災害時生活用水協力井戸の登録
- 防犯灯の設置／LED化



地域の安全を見守る防犯パトロール隊

こんなことも やっていきたい

- まだまだある危険な場所（調査と改善）
- 横断歩道・ガードレール・高速道下の照明取り付け（要請）

2 環境のきれいなまち

水と緑の豊かな自然環境のなか、周辺地域の都市環境の変化や高速道路・バイパスなど道路事情の変化に伴って、地域の環境維持は日常継続的な課題となっています。

「花いっぱい・ごみゼロのまち」をめざして、花壇づくりや町内会ごとの定例清掃活動などが継続的に行われ、ボランティア団体などによる資源再生活動、農村地区での農道・水路の整備作業などに努めています。

いまやっていること

- 花壇づくり
- 町内会ごとのごみ清掃、地区一斉清掃
- 環境実態調査、不法投棄防止対策
- 資源物の集団回収
- 農道・水路・歩道の除草整備作業
- 小枝ばらい、溝はらい



共同作業で環境整備と農業用水を守る

こんなことも やっていきたい

- ビオトープづくり
- ホタルの里づくり

3 支え合う福祉のまち

少子・高齢化、核家族化などが進むなかで、ひとり暮らしのお年寄りや、育児・子育てと
いったことに社会的な関心が高まっています。時代の変化のなかで、地域でできることはな
にか、みんなで助け合い支え合う福祉もわたしたちの大きな課題です。

お年寄りに支えられてきた今の時代を、これからこの地域を担って育つ子どもたちの将来
のために、地域で支え合い助け合うまちづくりに努めます。

いまやっていること

- 三世代ふれあいタイム
- 田植え、稲刈り体験(西部緑化クラブ)
- さつま苗植え、いも掘り体験(アグリメイト)
- ひとり暮らしお年寄りへのお弁当(JA女性部)
- 敬老事業 ● 子育て支援 ● 青少年育成事業

こんなことも やっていきたい

- お年寄りの子ども見守り
- 買い物や通院などのお手伝い
- お茶のみサロン
- ふれあい交流広場 ● 収穫祭



農業体験を通して地域とのふれあい

4 健康で明るいまち

わたしたちはいつも明るく元気に、日頃から健康に心がけところに潤いとゆとりをもって、和
やかな生活の日々を送りたいと願っています。

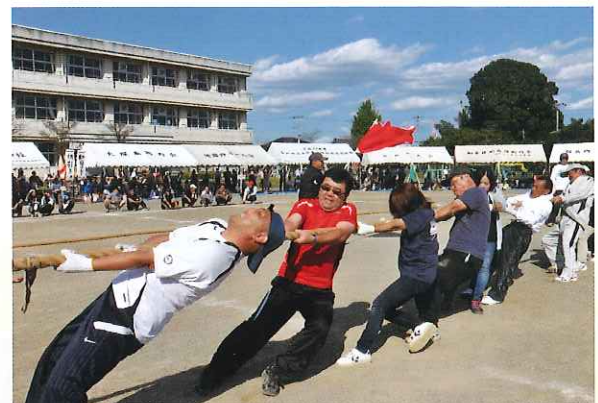
「市民運動会」「上中妻ふれあい祭り」は地域のみんが一堂に集い、ふれあいの楽しいイベン
トです。こころも体も健康で明るく過ごしていくために、もっともっと地域で楽しくふれあう機
会や居場所づくりに努め、健康寿命の高いまちをめざしていきます。

いまやっていること

- 市民運動会 ● 市民歩く会
- いきいき健康体操、元気アップステップ運動
- お父さんソフト・ママさんバレーボール大会
- ふれあい祭り ● 郷土史講座文化財移動学習
- 高齢者芸能大会(高齢者クラブ)
- 生き生き交流会

こんなことも やっていきたい

- ニュースポーツの普及
- 朝のラジオ体操
- 音楽・映画・落語鑑賞会
- 歌ごえ喫茶
- レコードカフェ



選手も応援にも力が入る市民運動会

5 絆を深め合うまち

道路の補修や防犯灯の設置など、地域の安心・安全は行政とともにわたしたち一人ひとりがみんなで力を合わせて守り続けていかなければなりません。

日常の困りごとや地域の声を行政につないでいく、そのためにも日頃から近所のお付き合いや町内会・子ども会での協力により絆を深めていくことが大切です。

町内会・子ども会への加入を勧め、各種関係団体との連携を強くしていきます。

いまやっていること

- あいさつ運動
- 町内回覧や市報などの配付
- 広報「ふれあい上中妻」の配付
- 町内会への加入のすすめ
- 子ども会への加入育成

こんなことも やっていきたい

- ホームページの開設
- コミュニティ掲示板
- 日常の困りごと相談
- 市民センター・集落センターの活用



道路清掃を通して深まる地域の絆

6 伝統文化を守るまち

地域では昔から祭りごとや寄り合い・結いなどの慣わしを通して深い絆で結ばれてきました。時代の変化とともに、こうした機会がだんだん少なくなってきていますが、人と人との結びつきの大切さはいつの時代も変わりません。

素晴らしい郷土の伝統を守り、地域資源の魅力をいまいちど掘り起こし、新しい文化を取り入れながら「郷土愛」を高め、夢のふくらむ未来へとつないでいきます。

いまやっていること

- 大杉ばやしと太鼓の伝承
(大塚青壮年同志会)
- 祇園祭とおみこし
- 郷土史研究(研究会)

こんなことも やっていきたい

- 「上中妻の郷土かるた」をつくらう
- 郷土の魅力再発見ウォークラリー
- 郷土の由緒案内板
- 盆踊り大会 ● どんど焼き



練り歩く鹿島神社(飯島)のおみこし

上中妻の歴史年表

年月日	ことごと
紀元前8000年頃	旧石器時代の人々が赤塚西団地のあたりに住みついた。
紀元前1500年頃	全隈から木葉下にいたる山の中で石斧や石矢じりがつくられた。
6世紀	この地区は常陸仲ノ国に属するようになった。
1602年(江戸)	徳川幕府が成立、大名の移封があり、大塚・金谷は宍戸領、飯島は水戸領、加倉井は天領及び旗本領となる。
1646年	水戸・宍戸両藩の間に村替えがあり、飯島が宍戸領となったが、その後旗本領となった。
1871年(明治4年)	廃藩置県で、飯島・加倉井は水戸県、金谷・大塚は宍戸県となる。
1873年(6年8月)	大塚町山田玄弘宅に大足小学校大塚分校として開校。
1874年(7年8月)	大塚分校が大塚小学校と改称。
1875年(8年)	四村とも茨城県管轄となる。
1888年(21年)	水戸・小山間に鉄道が開通、金谷・大塚を通過するようになる。
1889年(22年)	大塚・加倉井・飯島・金谷が合併し東茨城郡上中妻村が誕生。
// (22年9月)	上中妻小学校と改称、創立記念日。
1907年(40年)	金谷に大火事があり、その後各大字に火の見・ポンプが備えられた。
1941年(昭和16年)	上中妻小学校が上中妻国民学校となる。
1947年(22年4月)	義務教育制度が6・3制に。上中妻国民学校が上中妻小学校となる。
// (22年5月)	上中妻中学校が小学校校舎を利用して開校。
1951年(26年4月)	上中妻村役場内に上中妻公民館が設置される。
	大塚池畔に上中妻中学校新校舎を建設。
1952年～1958年 (27年～33年)	中妻地区土地改良区の団体営区画整理事業。 (上中妻・河和田・筑地)
1954年(29年)	桜川大排水路完成。笠間街道が国道に編入され50号線となる。
1955年(30年4月)	上中妻・河和田・山根の3ヶ村が合併して赤塚村となる。
1956年(31年4月)	上中妻中学校が河和田中学校と統合、赤塚第一中学校となる。
1958年(33年4月)	赤塚村が水戸市と合併、水戸市立赤塚中学校と改称。
1961年(36年10月)	水戸市消防団第17分団設置。



昔の農民の生活の様子(大塚農民館)

年 月 日

こ と が ら

- | | |
|-----------------|--|
| 1970年(45年12月) | 水戸市民憲章推進協議会を制定。
地区市民憲章実践会・地区自治連合会となる。 |
| 1973年(48年7月) | 上中妻地区実践会・上中妻地区町内会連合会を結成。 |
| 1982年(57年11月) | 実践会が「上中妻の歴史」刊行。 |
| 1985年(60年1月) | 常磐自動車道が完成。
上中妻公民館が現在地に竣工。上中妻小学校が現在地に移転。 |
| 1986年(61年4月) | 大塚農民館が開館。 |
| 1989年(平成元年4月) | 赤塚出張所開設。金谷町農業集落排水処理施設が共用開始。 |
| 1991年(3年4月) | 広報「ふれあいかみなか」創刊。 |
| 1994年(6年4月) | 実践会20周年記念誌「上中妻のあゆみ」刊行。 |
| 1995年(7年4月) | 大塚池公園を愛する会設立。 |
| 1996年(8年3月) | 上中妻地区実践会・上中妻地区町内会連合会を解散。 |
| // (8年4月) | 水戸市住みよいまちづくり推進協議会設立。
上中妻地区住民の会設立。 |
| 1999年(11年9月) | 上中妻地区防災会発足。 |
| 2001年(13年4月) | 加倉井地区農業集落排水処理施設が共用開始。 |
| // (13年7月) | 広報「ふれあい上中妻」と改題。 |
| 2005年(17年10月) | 上中妻地区防犯連絡会発足。 |
| 2006年(18年4月) | 公民館に市民センターを併設。 |
| 2010年(22年4月) | 公民館を市民センターに名称統一。 |
| 2011年(23年3月11日) | 午後2時46分東日本大震災(震度7、M9.0)が発生。 |
| 2012年(24年1月) | 水戸市から防災倉庫と災害時備蓄品が配備。 |

参考資料：「上中妻の歴史」(上中妻地区実践会)
広報「ふれあい上中妻」



村民一体となった運動会(上中妻小学校記念誌)

作成：上中妻地区住民の会／水戸市大塚町1157-1(上中妻市民センター内)

印刷：(有)彩美グラフィック／水戸市大塚町1370

発行：平成26年5月1日

※表紙写真(小学5年生の農業体験)



歩いてみませんか。

郷土の魅力再発見

ふるさと自慢



1 大塚池公園



2 成就院池



3 高野池



4 富士の下池



5 妙徳寺



6 奥の院 常陸の湯碑



7 三所神社



8 中根寺



9 大塚農民館



10 大塚地蔵尊



11 鹿島神社 (大塚)



12 満福寺阿弥陀堂



13 日鷲神社



14 塩街道の碑



15 鹿島神社 (飯島)



16 白鳥池付近

